



平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月11日

上場取引所 東

上場会社名 前澤工業株式会社

コード番号 6489 URL <http://www.maezawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 正

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部長兼経営企画室 部長 (氏名) 神田 礼司

TEL 048-251-5511

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	3,110	13.9	△751	—	△756	—	△735	—
25年5月期第1四半期	2,730	△4.6	△869	—	△879	—	△872	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 △771百万円 (—%) 25年5月期第1四半期 △673百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	△40.14	—
25年5月期第1四半期	△47.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第1四半期	27,460	13,945	50.8
25年5月期	32,833	14,789	45.0

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 13,945百万円 25年5月期 14,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	2.00	—	4.00	6.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,300	△4.3	△1,500	—	△1,530	—	△1,530	—	△83.44
通期	29,700	7.5	760	△32.8	670	△33.6	550	△35.2	30.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期1Q	21,425,548 株	25年5月期	21,425,548 株
② 期末自己株式数	26年5月期1Q	3,089,726 株	25年5月期	3,089,726 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期1Q	18,335,822 株	25年5月期1Q	18,335,976 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しており、平成25年10月9日付で四半期レビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は持ち直しの傾向にあるほか、企業収益は大企業を中心に改善し、設備投資は持ち直しの動きがあるなど、景気は緩やかに回復しつつあると思われれます。一方で海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクもあり、依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、平成24年度補正予算による押し上げ効果があるものの、公共投資関係費の削減、公共事業費のコスト縮減が行われたことによる企業間競争の激化により、非常に厳しい環境が続きました。

このような状況のもとで当社グループは、成長企業への転換を図るため、上・下水道市場や環境関連分野の民間市場に対し、ユーザーニーズを的確に捉え、企業集団の連携を強化することにより販売力の強化を推進し、販売活動を展開してまいりました。その結果、受注高は6,218百万円（前年同期比26.9%減）、売上高は3,110百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

損益につきましては、トータルコストダウンの更なる追求や生産効率の大幅な向上をめざし、低原価体質を基調とした強固な企業体質の構築を推し進めるべく諸施策を実施した結果、経常損失は756百万円（前年同期879百万円の損失）、四半期純損失は735百万円（前年同期872百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの事業の特徴として、受注した装置類の納期等が3月末に集中することから、売上および利益計上が第4四半期に集中する傾向にあります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①環境事業

環境事業については、公共投資関係費の削減および民間設備投資、不動産市況の低迷により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高2,165百万円（前年同期比60.4%減）、売上高1,426百万円（前年同期比34.5%増）、セグメント損失371百万円（前年同期413百万円の損失）となりました。

②バルブ事業

バルブ事業については、公共投資関係費の削減により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高2,623百万円（前年同期比48.9%増）、売上高1,430百万円（前年同期比20.0%増）、セグメント損失139百万円（前年同期272百万円の損失）となりました。

③メンテナンス事業

メンテナンス事業については、公共投資関係費の削減により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高1,429百万円（前年同期比11.6%増）、売上高253百万円（前年同期比47.0%減）、セグメント損失238百万円（前年同期180百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は27,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,372百万円減少しました。主な変動項目としましては、現金及び預金が4,642百万円、受取手形及び売掛金が1,632百万円減少しており、商品及び製品が468百万円、仕掛品が401百万円増加しております。

負債合計は13,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,527百万円減少しました。主な変動項目としましては、前受金が178百万円増加しており、支払手形及び買掛金が3,437百万円、未払金が447百万円減少しております。

純資産合計は13,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ844百万円減少しました。主な変動項目としましては、利益剰余金が809百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想につきましては、平成25年7月12日に「平成25年5月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,185	5,543
受取手形及び売掛金	7,360	5,728
電子記録債権	196	244
商品及び製品	1,997	2,465
仕掛品	1,561	1,963
原材料及び貯蔵品	953	1,064
繰延税金資産	11	44
その他	584	547
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	22,850	17,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,257	2,242
機械装置及び運搬具(純額)	875	859
工具、器具及び備品(純額)	452	459
土地	3,629	3,629
有形固定資産合計	7,214	7,190
無形固定資産	399	366
投資その他の資産		
その他	2,402	2,336
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	2,368	2,302
固定資産合計	9,982	9,859
資産合計	32,833	27,460

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,427	4,990
1年内償還予定の社債	219	219
1年内返済予定の長期借入金	2,500	2,500
リース債務	535	515
未払金	1,004	556
未払法人税等	89	17
前受金	1,313	1,492
賞与引当金	—	126
工事損失引当金	3	1
その他	1,406	601
流動負債合計	15,499	11,020
固定負債		
社債	526	476
長期借入金	200	200
退職給付引当金	1,337	1,315
長期未払金	26	20
リース債務	289	337
繰延税金負債	164	145
固定負債合計	2,543	2,495
負債合計	18,043	13,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,233	5,233
資本剰余金	4,794	4,794
利益剰余金	5,547	4,738
自己株式	△1,007	△1,007
株主資本合計	14,568	13,759
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	220	185
その他の包括利益累計額合計	220	185
純資産合計	14,789	13,945
負債純資産合計	32,833	27,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	2,730	3,110
売上原価	2,420	2,620
売上総利益	309	489
販売費及び一般管理費	1,179	1,240
営業損失(△)	△869	△751
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	28
その他	4	2
営業外収益合計	33	32
営業外費用		
支払利息	29	28
支払手数料	7	7
その他	7	1
営業外費用合計	44	36
経常損失(△)	△879	△756
特別損失		
固定資産除却損	1	3
ゴルフ会員権評価損	8	—
特別損失合計	9	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△889	△759
法人税、住民税及び事業税	7	8
法人税等調整額	△24	△32
法人税等合計	△16	△23
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△872	△735
四半期純損失(△)	△872	△735

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△872	△735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	198	△35
その他の包括利益合計	198	△35
四半期包括利益	△673	△771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△673	△771
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,060	1,191	478	2,730	—	2,730
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	47	4	53	△53	—
計	1,062	1,239	482	2,784	△53	2,730
セグメント損失 (△)	△413	△272	△180	△866	△3	△869

(注) 1 セグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,426	1,430	253	3,110	—	3,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	25	2	31	△31	—
計	1,429	1,456	255	3,142	△31	3,110
セグメント損失 (△)	△371	△139	△238	△749	△1	△751

(注) 1 セグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

多額な資金の借入

当社は、株式会社みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケート・ローン契約を、平成25年9月25日付で締結いたしました。

- (1) 資金使途 : 長期運転資金
- (2) 借入先 : 株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社武蔵野銀行、みずほ信託銀行株式会社
- (3) 借入金額 : 2,200百万円
- (4) 借入期間 : 平成25年9月30日より平成28年9月30日まで
- (5) 元本弁済方法 : 期限一括弁済
- (6) 財務制限条項 : ①平成26年5月期決算以降、各年度の決算期の末日における連結貸借対照表上の純資産の部の金額を平成25年5月期末日における連結貸借対照表上の純資産の部の金額の70%以上に維持すること。
②平成26年5月期決算以降、各年度の決算期における連結損益計算書の経常損益が、2期連続して損失とならないこと。